

文京区景観計画の策定に向けた意見交換会（第1回）の概要

1 目的

（仮称）文京区景観計画の策定に当たり、区民の目線から見た「文京区らしさ」を感じる景観などについて、広く計画に反映させるために実施しました。

2 開催状況

都市マスタープランで示された地域区分による5地域（都心地域、下町隣接地域、山の手地域 東部・中央・西部）それぞれで開催し、参加人数は合計34人でした。

地域区分	日時	参加人数	会場
下町隣接地域	7月23日（土） 14：00～16：00	3人	不忍通りふれあい館 （ホール）
山の手地域・東部	7月24日（日） 10：00～12：00	9人	駒込地域活動センター （多目的室）
都心地域	7月24日（日） 14：00～16：00	11人	アカデミー文京 （学習室）
山の手地域・西部	8月 6日（土） 10：00～12：00	8人	文京福祉センター （視聴覚室）
山の手地域・中央	8月 6日（土） 14：00～16：00	3人	アカデミー茗台 （学習室B）

3 内容

○第1部：景観ミニ講座『景観について知る・考える』

- ・景観ってなんだろう
- ・文京区の景観ってどんなもの

○第2部：ミニワークショップ

テーマ1：身近な景観、文京区らしい景観

- ＜質問＞・身近な場所で好みのスポットやまち並みはありますか？
- ・文京区らしい景観というと何を思い浮かべますか？
 - ・なぜ、それらの景観がよいと思いますか？

テーマ2：その景観、どうしたらもっと良くなる？

- ＜質問＞・テーマ1で挙げた場所について、それらをもっと良くするには、どのようなことが必要だと感じますか？

4 意見概要

意見交換会における意見を「坂」「歴史・文化」などの景観特性に類型化し、以下のように整理しました。

1. 景観特性について

(1) 坂

テーマ1「身近な景観、文京区らしい景観」	テーマ2「その景観、どうしたらもっと良くなる？」
<p>○善光寺坂</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸時代初期からの寺院が並んでおり、棕の木と新築された伝通院の山門が新しい名所になっている。 永井荷風が随筆で描いた雰囲気少し残っている。 夕日が美しい。 <p>○播磨坂</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜の時期はすばらしい。また、夏には葉が茂り歩道も涼しげ。 <p>○本郷6丁目の旅館街や求道会館、本郷館のある坂道</p> <ul style="list-style-type: none"> 起伏に富んだ坂と古い建物の景色が魅力。 <p>○異人坂</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂の両側に緑が多く、四季折々の花が咲いていて心が安らぐ。 <p>○菊坂</p> <ul style="list-style-type: none"> 懐かしさを感じる。 <p>○目白坂</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂を下ると東京タワーやシビックセンターが見え、閑静な住宅地と都会を同時に感じることができる。 <p>○炭団坂</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂を下ると景色が変わる。樋口一葉の史跡周辺の古い面影がよい。 <p>○富士見坂</p> <ul style="list-style-type: none"> 大塚三丁目交差点からは、今でも富士山が見える日がある。 <p>○鷲坂</p> <p>○汐見坂（藪下通り）</p>	<p><沿道のマンション></p> <p>○坂道にマンション等が建つと景観が悪くなる場合がある。配慮した建築計画が必要。</p> <p><使い方等></p> <p>○歩道が狭い坂道は、道を広げ、人・車・自転車の使い勝手を良くする。</p> <p>○坂道を楽しむには、どうしたらいいか考える必要がある。</p>

(2) 歴史・文化

テーマ1「身近な景観、文京区らしい景観」	テーマ2「その景観、どうしたらもっと良くなる？」
<p>寺社</p> <ul style="list-style-type: none"> ○根津神社 <ul style="list-style-type: none"> ・静かな佇まいで心が休まる。 ・歴史を感じる。 ○本郷通り沿いの寺社 <ul style="list-style-type: none"> ・子供のころからの遊び場。 ○向丘高等学校近くの寺（別格浄心寺） <ul style="list-style-type: none"> ・大きな布袋さんが見えている。 ○護国寺 <ul style="list-style-type: none"> ・緑と歴史の風格があり、建物も立派。 ・樹木や花の変化で季節を感じる。 ・猫がたくさんいて癒される。 ○湯島天満宮 <ul style="list-style-type: none"> ・坂道に沿った石積みに味わいがある。 ○吉祥寺 <ul style="list-style-type: none"> ・地域のシンボルとなっている。 ・山門から見る境内が額縁で切り取ったように美しい。 ・本郷通りの喧騒から一步入った永遠の静寂。 ・広々としているのに緑も多く、そのバランスが面白い。 ・桜やイチョウなど季節の樹木が増え、良くなった。 ○伝通院 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を実感できる。 ○富士神社 <ul style="list-style-type: none"> ・地形の面白さがある。 ○東京カテドラル <ul style="list-style-type: none"> ・建設当初は大反対があったが、今では地域のシンボルとなっている。 ○斜面に立地する神社 <ul style="list-style-type: none"> ・湧水があり、カニが生息している場所もある。 <p>庭園</p> <ul style="list-style-type: none"> ○六義園 <ul style="list-style-type: none"> ・都心に残された数少ない自然。また、歴史にも裏打ちされた味わい深い名勝・名園。 ・しだれ桜や四季の緑が美しく保たれ、緑がにじみ出している。 ○小石川後樂園 <ul style="list-style-type: none"> ・自然の中にいる感じがする。 ・公園の西側の通りに江戸の雰囲気を感じることができる。 	<p><周辺の建物></p> <ul style="list-style-type: none"> ○広い庭園内から外を見た場合、見る方向によっては雑多な印象を受ける。周辺の建物高さやファサードを規制できないか。 ○立派な庭園等の周囲にマンションが建っていると、外から園内の緑が見えない。そうなっている場所はやむを得ないが、今見えている場所は、今後守っていけないか。 ○せっかくの良い景観も連続性が分断されると魅力も半減するため、緑などで連続性を持たせることも必要。 ○マンション等は、寺社等からの見え方に配慮することが大切。（例えば、谷中のマンションは、階数を減らしたり、瓦を使ったりして、寺社との調和に配慮している。） ○まちの風格を形成している歴史的な建物と、新しい建物の色や素材などの調和を図ることが必要。 <p><保存・継承></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一度壊された歴史は再生できないため、古いものを大切し、場所によっては建物や文化を残すことが必要。 ○古いものは大切だが、新しいものも受け入れつつ、徐々に変化させていくこととのバランスが大切。 <p><緑化></p> <ul style="list-style-type: none"> ○寺社や庭園の緑を外からも見る工夫があれば良い。 ○塀はなるべく設置せず、生垣による緑化も良いのではないか。 <p><かき・柵等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路拡幅に併せて万年塀を減少させる。 <p><情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史や文化をテーマにしたイベント等を行うなど、区の歴史や文化を知ってもらうための工夫ができないか。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○敷地内に起伏がある寺院や庭園などは、高低差を生かした緑や建物の配置をするなど、地形を生かした景観づくりを行ってはどうか。

○占春園

- ・小学生の時の遊び場で、今もまったく変わっていない。

○椿山荘

- ・自然の中にいる感じがする。

史跡・旧跡

○東京大学

- ・すべてが文京区らしい。
- ・三四郎池の水と緑は心を和ませる。
- ・緑や花の変化で季節を感じるができる。

○お茶の水女子大学

- ・微音堂や正門など、文京区らしい歴史と知性、上品さを感じる。

○外務省研修所跡地（現在の拓殖大学）

- ・古き良き時代の建造物。

○幸田露伴宅跡

季節の風物詩

○氷川神社のお祭り（9月8、9日ごろ）

- ・生まれ育ったまちなので大好き。

○本郷の行燈まつり

- ・1月下旬から2月上旬にかけて行う珍しい行事。

○播磨坂の桜祭り

○天祖神社の夏祭り

その他

○クラシックガーデン文京・根津(老人ホーム)

- ・旧屋敷跡の蔵をうまく活用している。クラシックな雰囲気が良い。

○放送大学や筑波大学の新校舎

- ・古いものを残してモダンになっている。

○根津地域から上野公園散策コース

- ・歴史を感じ、気持ちが落ち着く。

○東京大学周辺、護国寺周辺

- ・住宅のレトロな雰囲気や門構えなど、歴史的なものを発見するとわくわくする。

○護国寺から今宮神社への散歩道

- ・弦巻川の記憶を感じられる。

○良い景観とは、歩いていて楽しいと感じられることだと思うので、しっかりと清掃され維持管理されていることが大切。

(3) 個性あるまちのまとめ

テーマ1「身近な景観、文京区らしい景観」	テーマ2「その景観、どうしたらもっと良くなる？」
<p>住宅地</p> <p>○西片</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人の品格が現れている。 <p>○弥生2丁目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿道の住民が、大きな桜や四季折々の花木などを自ら見せる工夫を考えている。 ・緑が多い。 ・水戸殿や弥生土器などの歴史がある。 <p>○旧森川町（本郷6丁目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治時代の名残が感じ取れる。 <p>○大和郷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち並みに歴史文化の香りがある。また、低層住宅地であるため空が広い。 ・高級感がある。 <p>○第1種低層住宅専用地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山の手線の内側で唯一の第1種低層住居専用地域があり、大切にすべき。 <p>○戦争を生き残った街区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本郷館や樋口一葉旧居跡、菊坂周辺などは雰囲気が良い。 ・音羽の裏通りには、古いまち並みが残っている。 <p>○本駒込</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺や神社、公園、緑が多く住みやすい。 <p>○湯島周辺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和初期のレトロなまち並みなど、昔の面影がある。 <p>○小日向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小日向2丁目の七本通りでは、七本すべてからスカイツリーが見える。 ・高台なので、富士山を見ることが出来る場所もある。 ・湧水が出ている場所もあり、崖下には水が流れている場所もある。 <p>○西片や関口の住宅地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文京シビックセンターが見える箇所があり、たまに見えると嬉しい。 <p>○根津・千駄木（谷根千）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根津教会周辺の古いまち並みや、戦前から残っている住宅に風情を感じる。 ・路地はパブリックスペースになっており、心和むまち並みがある。 ・根津2丁目14番の路地。 <p>○不忍通りから明化小に入る細い路地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和の名残の風景がある。 	<p><色彩></p> <p>○地域にふさわしい建物の色彩を誘導するガイドラインやルールが必要。</p> <p>○色彩は好みもあるから難しいが、使用できる色彩の範囲を決めてもらうと住民は選びやすい。</p> <p><建物の高さ></p> <p>○住宅地に高層マンション等は少ない方がよい。風害・電波障害などが懸念される。</p> <p><外構等></p> <p>○大和郷は綺麗なまち並みだが、塀が多いため、緑を増やす工夫が考えられないか。</p> <p>○塀を少しでも道路からセットバックさせ、できた空間に緑を植えてはどうか。</p> <p>○周辺を意識する建物形状や色彩、風通しなどが必要。</p> <p>○建物のスカイラインや色彩の不揃いがあっても、街路樹があることであまり気にならなくなる。美観を損ねている場合でも、緑によって隠したり、悪い印象を緩和させるような取組があってもよいのではないか。</p> <p><電柱・電線></p> <p>○電柱や電線が無くなると景観も変わる。</p> <p><住み方></p> <p>○自分の生活空間が心地よいことが景観の豊かさにつながる。</p> <p><コミュニティ></p> <p>○高齢者だけが残るまちは問題なので、景観に配慮したマンションで、若い世代にも住んでもらえる住宅地にする必要がある。</p> <p>○マンションはゴミ問題があるので、管理方法を考えなくてはいけない。</p> <p>○マンションの中に商店や老人ホームを入れるなど、人と人が出会える場所をつくることを景観の仕組みに入れられないか。</p> <p><賑わいの創出></p> <p>○幹線道路沿道はビル化され、商店が閉店してしまっているので、まちをマネジメントする視点で景観を考える必要がある。</p> <p>○看板を統一するなど、まち全体で統一感を感じさせる工夫があってもよいのではないか。</p>

<p>○千石1、2丁目の路地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が遊んでいる風景は、昭和の香りを 感じる。 <p>商店街</p> <p>○昔の本郷通り沿道、個人商店が並んでいた まち並み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活感がある景観。 <p>同業種のまとめり</p> <p>○印刷工場の集積地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフトが動いている風景にふる さを感じる。 <p>その他</p> <p>○須藤公園から動坂までの散歩道（千駄木コ ミュニティ道路）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩道としてすばらしい。 	
---	--

(4) まちの骨格

テーマ1「身近な景観、文京区らしい景観」	テーマ2「その景観、どうしたらもっと良くなる？」
<p>幹線道路</p> <p>○本郷通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏はイチョウ並木の緑が生い茂って良い。 <p>○音羽通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつての遊び場。シャンゼリゼ通りのよ うに、軸が通っていて気持ちいい。 ・江戸川橋から護国寺に向かう一直線の美 しさは他にない。 <p>神田川</p> <p>○神田川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜や船巡りで自然を感じることができる。 	<p><沿道建物></p> <p>○例えば、高層ビルが建ち並ぶ通りであれば、1 階部分には必ず瓦屋根を設け、歴史的な雰囲気 を出すなど、統一感を感じさせることが大切。</p> <p><電柱・電線></p> <p>○安全・安心があつてこそ、景観が楽しめる。不 忍通りの歩道は、車椅子が通れるように電柱の 移動が必要。</p> <p><維持管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の落ち葉の清掃は手間がかかるので、維 持管理の仕組みづくりも考えておく必要があ る。 ・落葉樹は、冬は枯葉が落ちて景観が悪い。清掃 が大変なので、葉が落ちない街路樹整備も考 えた方が良くはないか。 ・改修が進んでいる千駄木コミュニティ道路で は、樹木の管理の考え方も、時代に合わせた計 画になると良い。

(5) 公園

テーマ1「身近な景観、文京区らしい景観」	テーマ2「その景観、どうしたらもっと良くなる？」
<p>○元町公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災復興で作られた公園であり、歴史が見える（区の宝である）。 ・水と緑が豊かな空間であり、自然と人工のバランスがとれている。 <p>○小石川植物園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が立派（斜面緑地、地形）。桜の時期はとても綺麗。また、緑や花の変化で季節を感じる。 ・広大な敷地に緑や池、建造物がバランス良く配置されている。 <p>○江戸川公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜がすばらしい。 <p>○新江戸川公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺のある景色があり、水と緑が心を和ませる。 <p>○本郷給水所公苑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すばらしいビオトープがあり、バラも綺麗。 <p>○目白台運動公園緑地帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代から続く昔ながらの地形、植物形態を保っている。 <p>○教育の森公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿道の緑や花の変化で、季節を感じることがができる。 	<p><周辺の建物></p> <p>○小石川植物園など比較的大規模な公園の中から外を見たとき、雰囲気壊れないように、公園とのつながりを意識した建物計画にした方がよい。</p> <p><使い方等></p> <p>○子どもだけで遊ぶのではなく、親子で使える仕組みづくり（例えば、親が落ち葉を拾い、その横で子どもが遊ぶなど）をすることで、安全性も確保でき、人が集って賑わいのある景観もできる。</p> <p>○公園を使って、坂の上と下の住民が交流できると良いのではないか。</p>

(6) その他 課題として出た意見

<ul style="list-style-type: none"> ・敷地規模が大きく良好な低層住宅地では、マンションへの建替えが進み、街並みが変化している。（相続による地価の問題があると思う） ・庭園の内部は立派だが、周辺を囲むブロック塀や万年塀が、周辺の景観を阻害している。 ・小石川後樂園から外を見ると、東京ドームの屋根やシビックセンターが飛び出して見え、アンバランスな景観となっている。 ・神田川の上空に架かっている高速道路が景観を損ねている。 ・江戸川公園の桜の下での宴会はよくない。

2. 今後の景観づくりについて

(1) 住民等と行政でそれぞれできること

<住民等としてできること>	<行政としてできること>
<p>意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民の景観への関心が低すぎるので、住民一人ひとりが、意識を高く持つことが大切。 ○新しい住民と昔からの住民の考え方の違いの溝を埋め、共通認識をもつことから始める。 ○景観は息の長い取組なので、時間をかけて行う。 ○景観の善し悪しを見極める力を養うことが必要。 ○マンションを建設する際には、沿道に緑を植えたり、公開空気を周辺に調和させたり、元あった雰囲気や継承したりするなど、事業者の意識が大切。(例えば、ザ・ライオンズ上野の森や求道学舎など) ○建設工事中に設置される仮囲いについても、景観に配慮した方がよい。 ○住民が取り組めることは、まず歩道を綺麗にすることである。これを実現させるには、沿道の町会が意識を持ち、連携することが大切。 <p>住民活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園づくりなど、地域で景観を良くする活動を行うことが大切。 ○全国で行われている活動の事例を知ることも大切。 ○景観は時間をかけて形成していくものであり、できるところから活動していくことが大切。 	<p>規制誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業者ハードルを示していく必要がある。 ○8階以上の建物を建てる場合は、税金を上げるなどの考え方があっても良いのではないか。 ○幹線道路沿道(本郷通り・不忍通りなど)は、現状の高さを維持してはどうか。47mは高い印象。 <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり条例の策定。 ○各種景観活動へのサポート。 ○公共空間の質の向上のために行う個人の花植え等の取組に対し、もっと支援ができないか。 ○周辺に貢献している豊かな緑のある敷地では、落ち葉の処理に関して、区はもっと支援しても良いのではないか。 <p>情報発信・仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報発信・啓発を活発に行う。 ○文の京都市景観賞は、区内の魅力を発見し、広げる良い仕組みなので、継続することが大切。 ○携帯電話等から、気軽にお気に入りの景観等を投稿できる仕組みができないか。 <p>区民参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区民が区政に関心を持たせる仕組みづくり。 ○コミュニティとして、区民が参加できる場づくり。 ○楽しい企画でないと区民は参加しないので、食べることとセットにするなど、楽しく気軽に参加できるような企画があるとよい。 ○千代田区のように、大学や区民が参加したまちづくりコンペを行う。 ○建築のコンペのように、景観づくりのアイデアを集める方法を検討した方がよい。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○景観づくりは100年の計であり、行政は各部署でひとつの方向性を持って一丸となって実施してほしい。 ○区民からの提案をまずは受け付けてくれる窓口を創設することがあってもよいのではないか。

(2) 重要な地区の抽出方法

- 重点地区の抽出には時間をかけ、無理やりにならないよう慎重に選定していくことが望ましい。
- 商店会や町会に声をかけ、直接意見を聞くことも大切。
- 行政は町会等を窓口にするが、町会が高齢化が進んでおり、一部の意見しか吸収できない。別の方法も考える必要がある。
- 現在、音羽通り沿道の9つの町会で、花を植える等、音羽通りを美しくしていこうという取組をスタートさせようとしているところである。日常の清掃活動だけでなく、まち並みをどうしていくかも考えていきたい。景観づくりとつながるともあると考えている。